

令和4年度をふり返って

相撲専門委員会

本年度も関係者の皆様には、様々なご協力をいただき、大会が充実のうえ無事に終えることができました。このような成果が得られたことを心より感謝しております。本委員会では、生徒たちが相撲を正しく理解し、親しみ、真剣に取り組む中から心身ともにバランスよく成長することを目指しています。毎年、競技力の向上と競技人口の増加に力を注いでおります。まだまだ不十分ですが、中学校相撲部で育った選手が、高校でももちろん、大学・社会人となっても主力選手として活躍している現状も得ております。

《府大会》

この6年間ほどは、伏見と大原野が特に充実している大会になっております。先だって開催された夏季大会においては、5人制での接戦の末、伏見中学校が大原野中を破り優勝しました。府大会は3人制で行うため、実力が拮抗している両校にとって、選手交代も含めてメンバーをどう組み合わせるかも特に重要な要素になってきます。今年の主力選手は伏見、大原野の両校ともに、昨年度から中心選手として活躍してきており、伏見は安定した相撲をとる3年生の武甕を軸に、軽量級で全国経験も豊富な井上の2枚が充実しており、対する大原野は、奈佐、小林という3年生の試合経験豊富な2人が軸である。残りの1枚については、両校ともに2年生の選手があがってきます。この両校の2年生についても常にライバルであり、今回の府大会でも中堅戦で両者の対決になり、この対戦は伏見の選手が勝ちましたが、先鋒戦と大将戦で大原野が勝利し、大原野中が2-1で伏見中を破り優勝し、夏季大会の屈辱を果たしました。コロナ禍で大きな声援は出来ない中でしたが、大変盛り上がった試合になりました。

《近畿大会》

一昨年はコロナ、昨年は台風9号で2年連続の中止により、3年ぶりの開催になり、出場する中学生は全員が初の近畿大会となりました。出場校は伏見、大原野、嵯峨です。京都においては、伏見と大原野のメンバーが充実しており、両校とも2年生からチームの中心となっていた選手がそのまま残っており、大きな大会にも経験豊富なチームで、団体では両校ともに入賞を目指せる実力を備えているところでした。近畿全体としては、特に数年前より和歌山県が充実しています。打倒和歌山県を目指して取り組んできましたが、惜しくも結果は団体優勝と準優勝が和歌山勢、京都の両校はともに3位で終わりました。

《全国大会》

団体戦出場の大原野は、予選3戦中2勝をあげ、決勝トーナメントに進出しましたが1回戦敗退、ベスト32という結果でした。個人は、大原野中3年奈佐と伏見中3年武甕が決勝トーナメントに進出しましたが、決勝トーナメントの1回戦（ベスト32の手前）で両者とも敗退しました。個人戦で優勝したのが、鳥取の選手でした。近畿大会においてもこのように個人戦において、道場で習っている生徒がたくさん出場してきますので、まずは近畿の個人戦に耐えられるような実力を、京都の選手にもつけていくことが大きな課題であると考えます。

《おわりに》

本委員会は、全国大会での上位入賞を目標にし、毎年合同の強化練習会や合宿を実施しています。専門委員や各中学校出身の現役高校生らが、体を張った指導を行い、近畿大会レベルの団体戦においては、互角に戦うことができます。しかし、近畿の個人出場選手や、全国レベルになると、他府県では道場など社会体育が普及しており、年少時より相撲に親しんでいる生徒がたくさん出場し、競技力に大きく差があります。夏の大会へのクラブチーム参加が実施されていこうとしているわけであるが、懸念されるのは、京都にも道場にも所属し、平日は学校のクラブにも所属しているという選手がおり、春季大会などは学校として出るために顧問が一生懸命に体を張って指導している生徒が、夏の大会では道場から出場し、敵になってしまうということが起こりえることです。相撲専門部としてどのような形で団体戦へ出場を認めていくのかが課題になっています。中学校の相撲部として今後どのように拡大、継続をしていけるのかが課題だと感じます。本年度も、府中体連事務局をはじめ、関係の皆様にご多大のお世話になり、誠にありがとうございました。

第 75 回 京 都 府 中 学 校 総 合 体 育 大 会

【相撲競技の部】 於 伏見港公園相撲場

1. 団体リーグ戦
2. 個人戦

【団体戦出場校】

伏見中学校		
先	原田 泰誠	1年
中	和田野翔哉	2年
大	児玉 将都	1年
選	井上 耀	3年
選	武甕 悠介	3年

大原野中学校		
先	上田 恭吾	3年
中	高田 和寿	3年
大	小林 蒼空	3年
選	奈佐 翼	3年
選	土橋 誠羽	2年

嵯峨中学校		
先	永見 虎珀	2年
中	能勢 拓実	2年
大	小寺 遥飛	3年
選	高橋 丈人	2年
選	乙骨 大輝	1年

【団体リーグ戦】

1 嵯峨中学校 0 対 3 伏見中学校					2 大原野中学校 2 対 1 伏見中学校						
先	永見 虎珀		—	○	原田 泰誠	先	上田 恭吾	○	—	原田 泰誠	
中	能勢 拓実		—	○	和田野翔哉	中	高田 和寿		—	○	和田野翔哉
大	小寺 遥飛		—	○	児玉 将都	大	小林 蒼空	○	—		児玉 将都
3 大原野中学校 3 対 0 嵯峨中学校											
先	上田 恭吾	○	—		永見 虎珀						
中	高田 和寿	○	—		能勢 拓実						
大	小林 蒼空	○	—		小寺 遥飛						

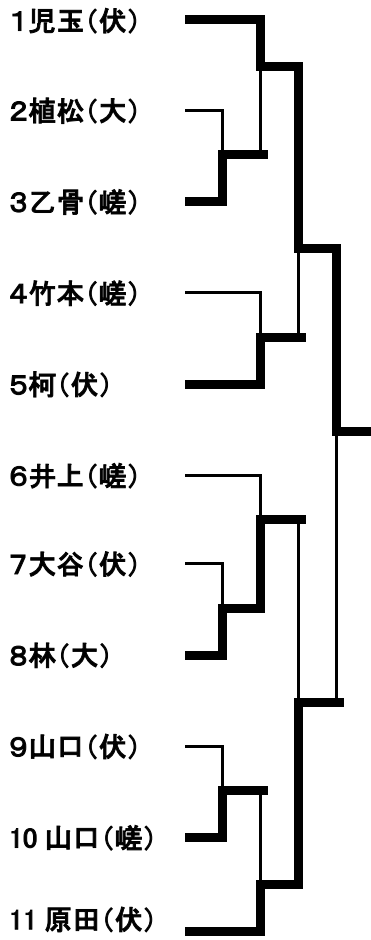
優勝 大原野中学校

2位 伏見中学校

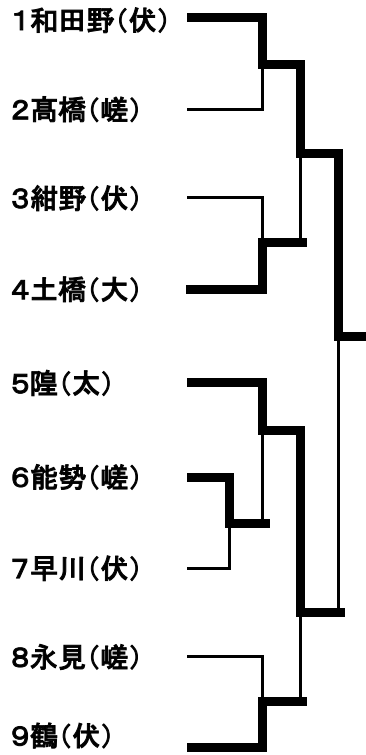
3位 嵯峨中学校

	伏見中	大原野	嵯峨中	得点	順位
伏見中	—	1 - 2	3 - 0	1 - 4	2
大原野	2 - 1	—	3 - 0	2 - 5	1
嵯峨中	0 - 3	0 - 3	—	0 - 0	3

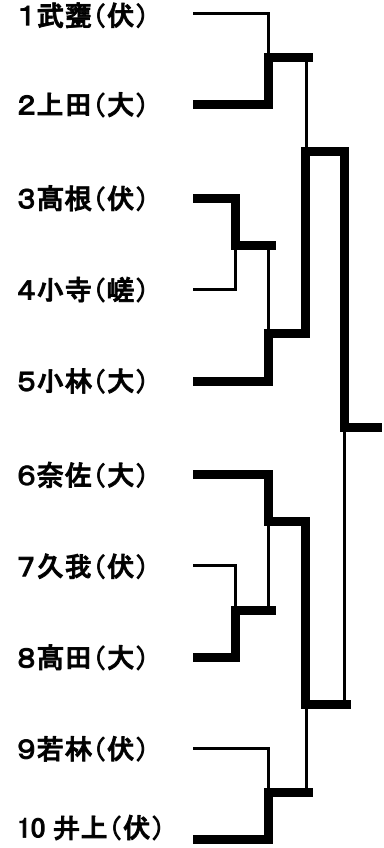
[個人1年生の部]



[個人2年生の部]



[個人3年生の部]



個人1年生の部

優勝 児玉将都 (伏)

2位 原田泰誠 (伏)

3位 柯 巧志 (伏)

3位 林 海人 (大)

個人2年生の部

優勝 和田野翔哉 (伏)

2位 隍 新太 (太)

3位 土橋 誠羽 (大)

3位 鶴 凧海 (伏)

個人3年生の部

優勝 小林蒼空 (大)

2位 奈佐 翼 (大)

3位 上田恭吾 (大)

3位 井上 耀 (伏)